

住む人に誇りを、訪れる人に感動を



世界文化遺産

長崎と天草地方の
潜伏キリシタン関連遺産

黒島の集落

学校教育用補助教材(佐世保市用)



黒島天主堂



マルマン神父

名前

2020年3月発行
企画・制作 / 「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」保存活用実行委員会
電話番号: 095-894-3171
協力: 長崎大学教育学部附属小学校
撮影協力: 池田勉、日暮雄一

平成31年度文化庁文化芸術振興費補助金(文化遺産総合活用推進事業)

黒島の集落



世界遺産って何だろう？

世界遺産は、世界中の人々が過去から受けつぎ、守って、未来へと伝えていかなければならない、とても大切な文化財(文化遺産)や自然(自然遺産)のことです。世界中の人々が、おたがいの国のくらしや文化を知り尊重することで、人権尊重や世界平和が実現することを期待されています。

2018年、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は、長崎のたからものから日本のたからものへ、そして世界の大切なたからものとなりました。

世界遺産のいろいろ

世界遺産は、「文化遺産」「自然遺産」「複合遺産」の3種類に分けられます。「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は、「文化遺産」で登録されました。世界には、1,121件の世界遺産が登録されています。(2019年現在)

日本には「文化遺産」と「自然遺産」が合わせて23件あります。

文化遺産

昔の人が生活していた跡や古い建物など、人間が作ったもの。
869件(うち日本19件)



① ラパ・ヌイ国立公園 (チリ)



② 自由の女神像 (アメリカ合衆国)



③ バチカン市国 (バチカン市国)



④ メンフィスとその墓地遺跡 (エジプト)

黒島の人たちの
残したものが
世界中の人々にとっても
たからものになったんだよ！
すごいね！



自然遺産

絶滅の恐れのある生き物が住んでいる場所や美しい風景など、自然のもの。

213件(うち日本4件)



⑤ ガラパゴス諸島 (エクアドル)



⑥ サガルマータ国立公園 (ネパール)



⑦ 四川ジャイアントパンダ保護区群(中国)



⑧ グレート・バリア・リーフ (オーストラリア)

複合遺産

「文化遺産」と「自然遺産」をあわせたもの。

39件(うち日本0件)



⑨ カンペチェ州カラクムルの古代マヤ文明と熱帯保護林 (メキシコ)



⑩ マチュ・ピチュの歴史保護区 (ペルー)



⑪ ギョレメ国立公園とカッパドキアの岩窟群 (トルコ)



⑫ ウルル=カタ・ジュタ国立公園 (オーストラリア)



日本にある世界遺産

日本には23件の世界遺産があります。姫路城や原爆ドーム、富士山などの「文化遺産」が18件、屋久島や知床などの「自然遺産」が4件あります。「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は、日本で22番目に登録された世界遺産です。



1 法隆寺地域の仏教建造物 (1993年)



2 姫路城 (1993年) 提供：姫路市



3 屋久島 (1993年)



4 白神山地 (1993年)



5 古都京都の文化財 (1994年)



6 白川郷・五箇山の合掌造り集落 (1995年)



7 原爆ドーム (1996年)



8 厳島神社 (1996年)



9 古都奈良の文化財 (1998年)



10 日光の社寺 (1999年)



11 琉球王国のグスク及び関連遺産群 (2000年)



12 紀伊山地の霊場と参詣道 (2004年)



13 知床 (2005年)



14 石見銀山遺跡とその文化的景観 (2007年)



15 小笠原諸島 (2011年)



16 平泉 一仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群 (2011年)



17 富士山ー信仰の対象と芸術の源泉ー (2013年)



18 富岡製鉄場と絹産業遺産群 (2014年)



19 明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業 (2015年)



20 国立西洋美術館 (ル・コルビュジェの建築作品 一近代建築運動への顕著な貢献一) (2016年)



21 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群 (2017年)



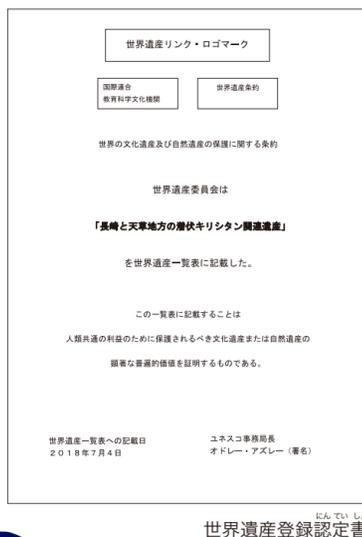
22 長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産 (2018年)



23 百舌鳥・古市古墳群 (2019年)

世界遺産になるまでの歩み

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」を世界遺産に登録してほしいと、日本からユネスコ(国際連合教育科学文化機関)へ申しこみました。すると、こんどはユネスコから頼まれたイコモス(国際記念物遺跡会議)の人が長崎と天草にやってきて、その内容をくわしく調べました。その結果、イコモスの人は、この遺産が世界遺産にふさわしいとユネスコに伝え、最後にユネスコが世界遺産に登録することを決めました。



世界遺産に登録されるまで11年もかかったんだよ。



世界遺産になるためのルール

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」を世界遺産としてみとめてもらうためにはとてもきびしいルールがあって、この遺産を守っていくための約束をしなければいけません。この遺産が持っている素晴らしい文化や環境を守って、未来へ伝えていくための計画をあらかじめ作り、約束を守ることにしています。

わたしたちは、このような約束によって、この遺産を未来へと守り伝えていくことになったのです。

どうやって守っていいかわか、みんなで考えようね!

約束



「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」って何だろう?

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は、日本でキリスト教を信じてはいけなかった時代に、ふつうに生活しながら工夫して信じつづけた人たち(潜伏キリシタン)が残した証です。日本に神父がいない中で、かれらがどのようにしてキリスト教の教えを守り続けたのかをひとつのお城の跡とひとつの教会、10の集落が表わしています。

「潜伏キリシタン」ってどんな人たちなんだろうね? 先生といっしょに勉強しよう!



「長崎と天草地方の 潜伏キリシタン関連遺産」物語

1

昔々、日本の各地にはお殿様がいて、人々は、神社やお寺などでお祈りをしながら、くらしていました。

徳川家康も日本をもっといい国にしたいんだけど、キリスト教の教えと考えが合わなかったらうね。長崎の教会も全部こわされたんだよ。



徳川家康

天草四郎という少年が総大将になって2万数千人ものキリシタンが原城①にたてこもって戦って殺されたんだよ。

2

ポルトガルからフランシスコ・ザビエル神父が日本にやってきて、キリスト教を日本に初めて伝えました。



フランシスコ・ザビエル

長崎と天草地方では、平戸に最初にやってきたんだよ。

4

日本で一番えらいお殿様であった徳川家康が自分のいうことをきかせるためにキリスト教を禁止し、昔のように神社やお寺などでお祈りをするように命令しました。



3

神父がたくさんやって来て、キリスト教といっしょに、お殿様に鉄砲やお金もうけなどを教えたり、病気の人を治したり、貧しい人に食べ物をあたえたりしたため、日本中に教えが広まりました。

このころ、キリスト教を信じて教会でお祈りした人を「キリシタン」というんだ。日本で初めてキリシタンになったお殿様が天村純忠だよ。そして、長崎と天草地方ではたくさんの人々がキリシタンになったんだ。



大村純忠

長崎の「出島」でだけ、それもキリスト教と関係のない外国とだけおつきあいをすることにしたんだよ。

7

日本には神父がいなくなり、教会もなくなりました。そして、長崎と天草地方のキリシタンは、「潜伏キリシタン」となりました。

集落のえらい人が、神父のかわりとなって見つからないように、工夫しながらキリスト教の教えを守り続けた人を「潜伏キリシタン」というんだよ。平戸②③、天草④、外海(出津⑤、大野⑥)にいたことが分かっているんだ。

6

キリシタンが恐ろしくなったお殿様は、神父が日本に入ってくないように港をとじてしまいました。



出島

マリア観音



次ページに続く

前ページからおよそ150年後...

8

外海で人口が増えすぎて暮らしにくくなったので、潜伏キリシタンは、五島などに引っ越していきました。

外海から海をわたって、人がまだあまり住んでいなかった島でキリスト教の教えを守りながら暮らしたんだよ。黒島⁷、野崎島⁸、頭ヶ島⁹、久賀島¹⁰に引っ越したことが分かっているんだ。



9

それから50年くらいたつと、日本はまた色々な外国とのおつきあいを始めました。長崎の「大浦」というところに、外国の人々が住む町をつくりました。

10

大浦天主堂に神父がいることをきつけた浦上村の潜伏キリシタンが、プティジャン神父に自分たちがキリスト教の教えを守り続けてきたことを話しました(信徒発見)。そして、潜伏キリシタンは、他の村からもやってきましたが、日本ではキリスト教が禁止されていたので、つかまってしまいました。

久賀島では、せまい牢屋にたくさんの人がとじこめられて、なくなった人もいたんだよ。

外国人のために大浦天主堂¹²を建てたんだよ。



大浦天主堂



プティジャン神父

11

外国の人たちが日本に注意したこともあって、日本でもキリスト教を信じるできるようになりました。

潜伏キリシタンは、230年ぶりに教会でお祈りをするようになったんだよ。



12

キリスト教を信じている人たちの村では、神父と協力しながら教会を建てました。



マルマン神父



黒島天主堂

長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産



1 原城跡

キリシタンたちが戦争を起こしたお城の跡地



2 平戸の聖地と集落(春日集落と安満岳)

キリスト教が伝わる前から信じていた山やキリシタンがなくなった島などを拝んだ集落



3 平戸の聖地と集落(中江ノ島)



4 天草の崎津集落

身近なものなどを拝んだ集落



5 外海の出津集落

キリスト教の絵などを拝んだ集落



6 外海の大野集落

神社などを拝んだ集落



7 黒島の集落

馬を育てていた場所に引っ越した集落



8 野崎島の集落

神社があった場所に引っ越した集落の跡地



9 頭ヶ島の集落

病気の人ばかりが住んでいた場所に引っ越した集落



10 久賀島の集落

開発が進んでいなかった場所に引っ越した集落



11 奈留島の江上集落

(江上天主堂とその周辺) 教会が建てられた集落の代表例



12 大浦天主堂

潜伏キリシタンと神父がおよそ200年ぶりにであった教会

奈留島の江上天主堂¹¹が代表例だよ。黒島でもマルマン神父の指導で黒島天主堂が建てられたね。



くろしま しゅうらく 黒島の集落

ほんむら 本村集落



黒島で最も古い集落です。本村集落の人たちは、お寺でお祈りをしながら暮らしていました。そして、後から引っ越してきた潜伏キリシタンとはあまり関わらないようにして生活しました。



こうぜんじ 興禅寺

潜伏キリシタンは、キリスト教を信じていることが分からないように、興禅寺でお祈りをしました。お寺の中には、観音菩薩像をマリア像に見立てたマリア観音があったといわれています。

わらべ 蕨集落



牧場跡(まきばあと)の蕨集落

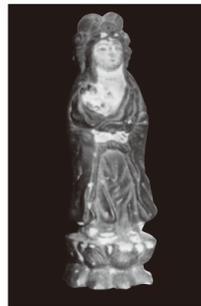


しょうや 庄屋敷跡

キリスト教が禁止されていた頃、キリシタンかどうかを確認する「絵踏」が行われていた場所の跡地です。今は公園となっていますが、昔の石垣が残っています。



興禅寺の梵鐘(ほんしょう)



興禅寺のマリア観音



せんぷく 潜伏キリシタンのお墓(仕切牧墓地)

蕨集落の潜伏キリシタンのお墓です。1880年代にカトリック共同墓地ができるまで使われていました。潜伏キリシタンのお墓の向きは、お寺のお墓とは逆向きになっています。



せんぷく 潜伏キリシタンの指導者屋敷跡

(「仮の聖堂」跡)

黒島の潜伏キリシタンの指導者であった出口家の屋敷の跡地です。まだ日本ではキリスト教を信じてはいけなかった1872年、ひそかに神父を呼んで、この場所で初めてのミサが行われました。キリスト教を信じていることができるようになった後は「仮の聖堂」となり、1879年に最初の教会堂が建てられるまで使われていました。黒島の聖地の一つとして石碑(信仰復活の地)が建てられました。



マルマン神父



しゅだい 初代黒島教会堂跡／黒島天主堂

1879年、黒島で最初の教会堂がペルー神父によって建てられました。この場所は、みんなが集まりやすい島の真ん中ということで選ばれました。現在の建物は、1902年、マルマン神父によって建てられた二代目の教会堂です。正面の石段と石垣は初代黒島教会堂のものでした。



くろしま 黒島天主堂資料室

歴代の神父がお祈りの時に使っていた道具などが展示されています。建物は「もん部屋」といい、かつては子どもたちが勉強したりシスターが泊まったりしていました。